美術 II

科目ナンバリング　ARL-102
【Ⅲ】　選択　2単位

岩崎　達也

1. 授業の概要（ねらい）

日本の美術に親しむための授業です。秋期は、江戸時代から幕末、明治時代を中心に、毎回厳選した作品を紹介します。限られた作品を深く、多角的に読み解くことで、作品そのものの魅力はもちろんのこと、作品がつくられた時代の技術や文化の特徴、歴史的背景も学べる内容を目指します。また折にふれ、美術館や博物館で開催されている展覧会を紹介し、受講生が積極的に実作品に触れる機会を増やしたいと思います。

2. 授業の到達目標

受講生が基礎教養を身につけることを目標とします。具体的には、授業で取り上げる内容の中から好きな作品や作者、興味を抱く時代を見つけ、それについて解説できること。

3. 成績評価の方法および基準

出席率+授業内課題（40%）と学期末レポート（60%）をもとに評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
教科書は特にありません。もし、授業理解を深めたい場合には、下記の参考文献がおすすめです。
参考文献
辻惟雄　『カラー版　日本美術史』　美術出版社

5. 準備学修の内容

できる範囲で構わないので、ジャンルは問わず、美術館、博物館に行き、美術作品を鑑賞すること。

6. その他履修上の注意事項

オンライン授業にすることがあります。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス　授業の内容と進め方の説明
【第2回】　江戸時代　江戸狩野と京狩野の絵画
【第3回】　江戸時代　琳派の美①「風神雷神図」の秘密　俵屋宗達と尾形光琳
【第4回】　江戸時代　琳派の美②　酒井抱一と鈴木其一
【第5回】　江戸時代　浮世絵　鈴木春信と歌麿、写楽
【第6回】　江戸時代　浮世絵の風景画　北斎と広重
【第7回】　幕末の浮世絵　国芳、月岡芳年
【第8回】　江戸時代　伊藤若冲と奇想の系譜
【第9回】　江戸時代　京都の絵画　円山応挙の写生画
【第10回】　江戸時代　京都の絵画　文人画の世界
【第11回】　明治時代　日本画　フェノロサと岡倉天心と日本画の近代化
【第12回】　明治時代　洋画　日本近代洋画の始まり
【第13回】　明治時代　彫刻・工芸・建築
【第14回】　明治時代　官設展覧会の設立
【第15回】　まとめ、レポート提出